

トラクタ ロータリー後付け 平うねマルチ FMシリーズ (FM18M・FM18RM・FM18RMB)

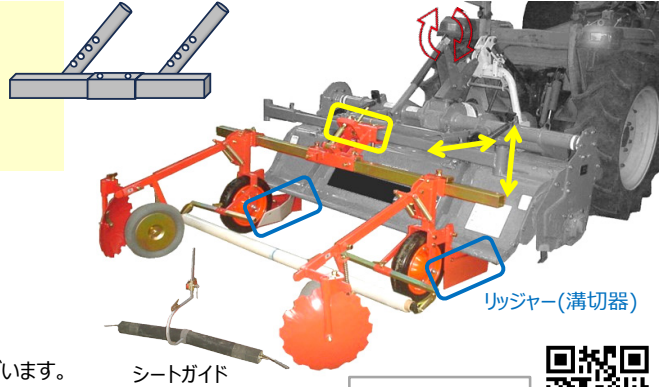
耕うんロータリーに後付けできるから**初期投資**も抑えられます♪

注意点：後付けならではの、**取付要項**と、装着に伴う**作業幅制限**などが決まっていますので、購入前にしっかりと確認してください。

トラクタ 13～30馬力の標準耕うんロータリー

取付要項：トラクタ耕うんロータリーのツールバー(デブスビーム)に装着します。

- ①中央ヒッチ部が**60mm角バー**になっている事
- ②中央ヒッチ部のピン穴が**芯々100mm**になっている事
- ③尾輪耕深調整ハンドルで**上下に可動**できる事
- ④ツールバーの**前後出し入れ**ができる事



一般的な耕うんロータリーは上記の規格になっていますので、殆どの機種に装着ができます

注意：ツールバーが無い物や、固定式、または中央部が丸パイプの場合は装着できません

耕うんロータリーの更に後ろに装着するのでフロントウエイトが必要になる場合がございます。

尾輪仕様(M) 53kg リッジャー仕様(RM) 60kg ・(RMB) 68kgとなります。

小型トラクタ13～18馬力で車体が軽い場合は20kgほどのウエイトが必要になる場合がございます。

注意：後付けマルチャーは**耕うんロータリーよりもはみ出した使用はできません**

尾輪仕様(M)の場合、尾輪の幅が6.5cmずつありますので、**ロータリー耕幅よりも13cm短いのが「最大うね裾幅」**になります。

リッジャー仕様(RM・RMB)の場合、溝切器の幅が12cmずつありますので、**ロータリー耕幅よりも24cm短いのが「最大うね裾幅」**になります。

FM 動画QRコード



ロータリーとFMの作業幅を合わせると一番きれいにできます。



ロータリーよりもFMの作業幅が短い場合は隣接畝が離れてしまいます。



オフセット装着での片寄作業が可能 往復作業はできず、片側通行

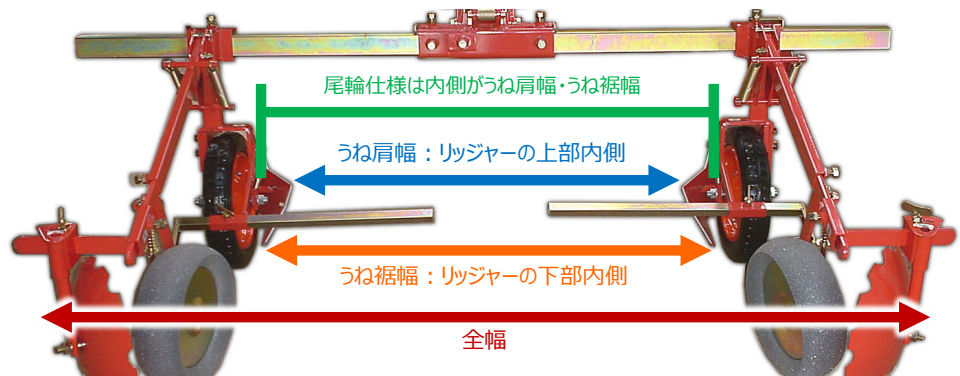
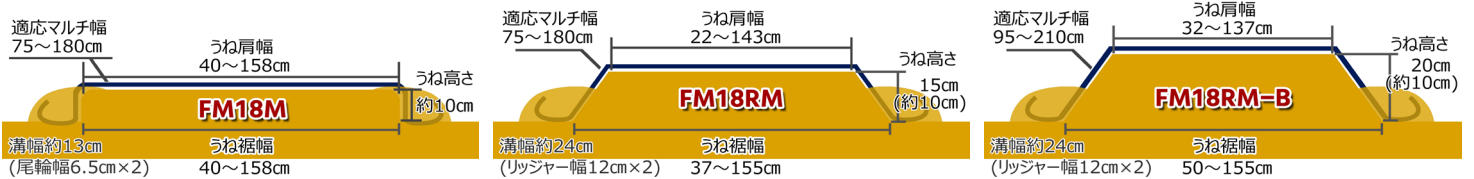
FM18M・・・ロータリーのリヤカバーで上面を均しながらマルチを張るだけ。尾輪の沈み込み(轍)で、約10cmほどのうね高さになります。

FM18RM・・・ロータリーのリヤカバーの下に高さ15cmのリッジャー(溝切器)を置いてうね高さ15cmの平うねマルチが張れます。

FM18RMB・・・ロータリーのリヤカバーの下に高さ20cmのリッジャー(溝切器)を置いてうね高さ20cmの平うねマルチが張れます。

高さがある分、マルチシートにテンション(引っ張り)をかけるため、**シートガイド**が付属されます。

※RMとRMBはリッジャーを外せば、Mと同じ作業の平マルチが張れます。



うね肩幅と、うね裾幅の関係性

- 尾輪 約10cm(M)：うね裾幅と、うね肩幅は同じ
- リッジャー15cm(RM)：うね裾幅 - 13cmがうね肩幅
- リッジャー20cm(RMB)：うね裾幅 - 18cmがうね肩幅

マルチャーの覆土ディスクまでの全幅はうね裾幅 + 約50cmとなります。

マルチシート幅と、畝のサイズを合わせる事が重要です。合わせないと作業中にマルチがスポンジ車輪から外れる事があります。

【うねサイズに合わせたマルチシートの適合計算方法】

$$\text{うね肩幅} + (\text{高さ} \times 2) + (\text{マルチの覆土幅} 10\text{cm} \times 2) = \text{マルチシートサイズ}$$

$$\text{計算例：うね肩幅} 85\text{cm} + (\text{うね高さ} 15\text{cm} \times 2) + \text{覆土幅} 20\text{cm} = 135\text{cm} \text{ マルチシート}$$



市販のマルチサイズは95cm・110cm・135cm・150cm・180cm・210cmなどがあります。

ぴったりの適合サイズが無い場合、短過ぎても、長過ぎても不具合が生じます。

基本、**覆土幅は左右10cmずつ必要**！許容範囲は片側でプラス5cm、マイナス2.5cmまでしてください。